

定 例 教 育 委 員 会【議 事 録】

日 時 令和6年5月10日(金)
9時30分～

場 所 岡谷市役所6階 605会議室

署名委員 太田教育長職務代理者、轟教育委員

【次 第】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

- 1 学校評議員の承認について【資料1】(非公開) (教育総務課)
- 2 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について【資料2】(非公開) (教育総務課)
- 3 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について【資料3】(非公開) (教育総務課)
- 4 川岸学園設立準備委員会の設置について【資料4】 (川岸学園整備室)
- 5 岡谷市小中学校熱中症対応ガイドラインの見直しについて【資料5】 (教育総務課)
- 6 第7次岡谷市生涯学習推進計画の策定について【資料6】 (生涯学習課)
- 7 第3次岡谷市スポーツ推進計画の策定について【資料7】 (スポーツ振興課)

○ 報 告

- 1 第4次岡谷市通学路交通安全プログラムの実績について【資料8】 (教育総務課)
- 2 岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について【資料9】 (各課)

○ そ の 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

出席委員

教育長 宮坂 享、教育長職務代理者 太田 博久、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 林 慎太郎、教育委員 轟 美緒

事務局(説明員)

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主幹指導主事 濱 敦志、
生涯学習課長 白田 研一、スポーツ振興課長 小松 隆広、
教育総務課学校教育主幹 味澤 勝一、教育総務課教育企画主幹 西山 塁、
川岸学園整備室川岸学園整備主幹 新村 尚志、教育総務課主任 大島 俊輔

<会議録>

○開 会

宮坂教育長： それでは、ただいまより令和6年5月定例教育委員会を始めます。本日の署名委員は太田教育長職務代理者と轟教育委員にお願いいたします。

○教育長報告

宮坂教育長： はじめに私から報告をします。

5月の連休の最終日である5月6日は二十四節気では立夏と呼ばれ、夏の始まりをあらわしています。立春や立秋はよく聞く言葉ですが、立夏はなかなか使われる場面が少ないと感じます。ジャーマンアイリスという花。名前はとても可愛らしいのですが、砂地でも育つようなとても強い花で、今の時期になるとグングン成長をしています。もうすぐ花が咲き始めだと思います。

子どもたちの姿から報告をします。1年生の様子を各校で見てきました。ある学校では学校探検の発表をしていました。ある子は大きな机を見つけたようで、

「机がありました。思ったことは、でかかったです。」

と感想を言っていました。高い低いといった感覚的な言葉や語彙を増やすことを目的とした授業でした。先生のお話を、しっかり見つめながら聞いている児童の姿がありました。

数字の6の練習をしている学校もありました。担任の先生が書いた数字の6が少し角ばっていたので、児童がそれを指摘すると、先生は再度書き直しました。書き直された6を見て、児童たちは納得した様子でした。担任の先生を見つめる目がとても温かく、先生の指導も全員に行き渡ってありました。先生が「〇〇さん、困ってる？」と聞くと、先生が近くに行く前に、隣の席の子が教えてあげる姿がありました。子どもたちのまとまりがとても素晴らしかったです。

新任の先生方は岡谷には6名います。3、4年生の合同授業でしたが、授業の始まりのあいさつが素晴らしかったので、すかさず褒めていました。子どもとの良い関係性ができていると感じました。机間指導でも授業づくりに一生懸命な姿を見ることができました。

5月病の話が世間でも出ていますが、5月に負けずに豊かな成長、笑顔と感動溢れる学校生活をと、心から願っております。

続きまして中学校の修学旅行について報告します。無事に4校とも終了しました。当たり前のことが当たり前にできることに感心した、というお話を校長先生から聞きました。例えば、旅館のスリッパを揃える。夕食後の食器をグループごとにまとめる。横断歩道を渡るときに信号が点滅した

宮坂教育長：　　ら渡るのをさっとやめる。どれも当たり前のことですが、こんな中学生を見たのは初めてだと言っていました。

興福寺宝物殿を見学した時は、仏頭や阿修羅像をじっと見入っている生徒がいたそうです。まるで対話をしているようで、先生も後ろから声をかけるのをためらったそうです。事前学習をきっかけとし、興味関心を強くして、自分なりの課題を持って学習に臨む姿が素晴らしいと思いました。

つづきまして、生涯学習課から、「小口隼甫展」についてであります。

美術考古館では、5月16日から7月15日まで、「小口隼甫展」を開催いたします。小口隼甫さんは、百貨店カネジョウを経営するかたわら、書や盆栽などの制作に取り組み、国内外で多くの作品を発表し、その分野を海外にも普及させております。今回は一字書で、さまざまな字形や線、墨の濃淡など多彩な表情をもつ絵画的とも言える作品を紹介、展示しますので、芸術に対する深い思いとともに、ぜひご覧いただきたいと思います。

次に、シルクフェアについて報告いたします。旧林家住宅では、ヴァイオリンとピアノデュオのコンサートと、岡谷市吉祥会の皆さんによる呈茶のサービスが行われました。281人の皆様にご来館いただき、着物をお召しになられた方も大勢いらっしゃいました。コンサートでは、建物の雰囲気と楽器の音色の何とも言えない調和を生み、再度の開催を望む声を多くいただいたところでもあります。今後も、市の文化財の素晴らしさを多くの方に知ってもらえるような催しを企画するなど、活用に努めてまいりたいと考えております。

最後にスポーツ振興課関連で報告させていただきます。「第33回長野県市町村対抗駅伝競走大会 並びに 第19回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会」が、4月27日に、松本市のやまびこドーム前を発着点に開催されました。春の日差しが心地よく感じられるなか、52市町村が参加した「一般の部」は、9区間 39.5 k mのコースで行われ、岡谷市は去年の31位を上回る22位でゴールしました。

また、61市町村が参加した「小学生の部」は、4区間4.8 k mの周回コースで行われ、39位と健闘しました。本市の選手の皆さんは、県内各選手と競り合いながら、郷土の襷を胸に最後まで粘り強い走りを見せてくれました。

来年も、さらに上を目指し、走る楽しさや喜びを感じながら、選手にとって素晴らしい大会となることを期待しているところであります。

私からの報告は以上であります。それでは本日の議題に入ります。

○議 題

- 1 学校評議員の承認について
- 2 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について
- 3 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について

宮坂教育長： 議題1から議題3につきまして、人事に関わる議題になりますので非公開とさせていただきます、後ほど議論したいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

それでは議題4「川岸学園設立準備委員会の設置について」を事務局よりお願いします。

4 川岸学園設立準備委員会の設置について

＜資料4に基づき、事務局より説明＞

太田教育長職務代理者： この準備委員会はいつから設置になるのでしょうか。また、「川岸学園NEWS」という資料がありますが、市民の方々にはどのように情報発信をしていく予定でしょうか。

藤森教育委員： 私も関連して、「川岸学園NEWS」について質問です。第1号ということで資料をいただいておりますが、発行の頻度はどの程度を想定しているのでしょうか。

事務局（両角）： 3月の定例議会でも、市民の皆様にご丁寧な説明をしていくとお話をさせていただいたところです。4月に入ってからすぐに区の方々に川岸学園の整備について説明をさせていただき、地元とのキャッチボールが始まりました。委員会で検討された内容につきましては随時、情報発信をする予定です。

今後も市民の皆様を対象にした説明会も開催予定ですし、お便りやHP、学校の回覧など、様々な媒体で情報発信を行う予定です。

川岸学園設立準備委員会につきましては、準備が出来次第、設置をする予定です。委員の選出、部会の設置等、検討事項が多いため、5月に直ちに設置は難しいですが、準備を進めさせていただきます。

林教育委員： 部会の構成メンバー案につきまして、PTA推薦枠や保護者会推薦枠については年度が替わると人も変わると思います。過去の統合の際、たまたま子どもがまだ学校にいるPTAの方が構成メンバーにいたのですが、今回は期間が長いです。子どもが卒業をしても継続してお願いをするのか年度によって構成メンバーは変わっていくのか、どちらでしょうか。

事務局（両角）： 過去の統合の際は継続してメンバーになっていただきました。継続の良さもありますが、今回はP T Aの方と相談をしながら、臨機応変な対応をしたいと思います。

林教育委員： 個人的な意見ですが、可能ならP T A推薦枠と保護者会推薦枠のどちらかは、最後まで継続で構成メンバーに入れて欲しいと思います。

轟教育委員： 川岸学園の設立は重要な事項であることは重々承知していますが、やはり子育てをしている保護者の方々は非常に忙しいです。忙しい中でも意見を集約できるような工夫は必要です。アプローチの方法や時間帯なども気にしていただければと思います。

事務局（両角）： 岡谷小学校の統廃合の時と異なり、今回は学校がその場に残ります。付加価値をつけるためのチャレンジになることをご理解いただく必要があります。保護者の方や区の方が不安に感じている要素を解消できるように議論をする必要があります。対面では難しいかもしれませんが、すぐーのアンケート機能なども利用しながら意見のやり取りを進めたいと思っています。

轟教育委員： 通知が来ても忙しくて流してしまう保護者の方もいると思います。仕方のないことと思いますが、何も知らずに川岸学園構想がどんどん進んでしまうことも良くないと思いますので、意図的に何度も目に触れるように通知することも必要なかと思いました。

事務局（両角）： この取り組みは決してマイナスな取り組みではなく、子どもたちにとっても地域の方にとっても、期待や希望の意見が出るような取り組みが大切だと思います。市教委だけでなく先生にも共有をして、日々の学校の活動の中で、これから学校がこんな風が変わっていくと伝えることが大切だと思います。

昨年度、川岸小学校150周年記念誌を作っていただきましたが、未来の川岸学園について各クラスでお話いただいております。川岸学園の情報を受け止め、考えを描いてくれた子どもたちの現実がそこにはありますので、こういった地道な取り組みを学校と一緒にすることも大切だと思います。

藤森教育委員： 学校が出来上がった時の校名につきまして、ご説明いただいたように、今回の統合は夢のある、プラスの話だと思いますので新たな名称についても市民の皆さんは関心を持っていると思います。どのような流れで決定になるのでしょうか。

事務局（両角）： 整備基本計画の後半で、校名についても改めて検討をするとしております。地域の方々や子どもの思いが反映されるような校名にしたいとは思っ

事務局（両角）： ておりますが、岡谷田中小学校の時のように最終的に決定をするのは市です。決定をするために、地域の皆さんの声を聞き、案を作成といったようなステップを踏みながら、委員会も絡めながら決定をしたいと思っております。

太田教育長職務代理者： 構成メンバーについては、どの部会にも市の職員は入るということによってよろしいでしょうか。

事務局（両角）： 教育総務課のすべての職員が何らかの部会に関わっています。その認識で問題ございません。オブザーバーとしてすべての部会に所属している職員もいます。そうすることで学校作りのイニシアティブを取っていただく作りにしております。

宮坂教育長： ありがとうございます。それでは、川岸学園設立準備委員会の設置につきまして、教育委員会として承認したいと思いますよろしくお願いします。

《承認》

ありがとうございます。この設立準備委員会の設置をもって、いよいよ川岸学園の整備も具体的に動き出していくことになります。保護者や地域の皆さんをはじめ、現場で働く学校の先生方の声を聴きながら、子どもたちにとって、そして地域にとっても誇りとなる教育・保育の環境づくりを進めていきたいと思いますので、教育委員の皆様におかれましては、引き続き、ご協力いただきますようお願いいたします。

続きまして議題5「岡谷市小中学校熱中症対応ガイドラインの見直しについて」を、事務局より説明をお願いします。

5 岡谷市小中学校熱中症対応ガイドラインの見直しについて

<資料5に基づき、事務局より説明>

轟教育委員： 暑さ指数計がガイドラインの中で出てきますが、これは各校にあるという認識でよろしいでしょうか。また、学校の中でも場所によって温度は随分変わるとは思いますが、設置は数か所されているのでしょうか。

事務局（両角）： 国の通知により、学校で備えるべき備品であるとされています。コロナ禍でマスクをして夏を過ごす年がありましたので、全ての学校に暑さ指数計があります。コロナ対策として予算配当もしておりますので、各校で加えて購入をしている状況です。すべての教室に設置は難しいですが、温度計はすべての教室に設置されています。

宮坂教育長： 中学校の部活動では、顧問の先生が暑さ指数計を持って部活動を指導す

るなど、数値については常に気を付けています。

藤森教育委員： 熱中症のリスクが年々高まり、今年も既に夏を思わせるような気温になっています。その年の状況に合わせてガイドラインを変えていただくことはありがたいことだと思います。

事前対応のポイントで、教職員への啓発のため研修を実施するとあります。例えばですが、ここ数年で本ガイドラインに沿って訓練を行ったりした学校はあるのでしょうか。

事務局（両角）： 毎年、夏になる前の校長会にて、本ガイドラインの周知をしております。市独自のガイドラインだけでなく、県や国のガイドラインもあり、それらを用いた研修は各校で実施していただいております。また、暑さによって熱中症の疑いがある事例は日常的にあります。そのような時は、まず安全確保をするように日頃から行っておりますので、避難訓練のような訓練は行っておりません。

太田教育長職務代理者： 熱中症特別警戒アラートの伝達方法につきまして、前日の14時頃に発せられるとありますが、これは市職員もしくは学校の先生が毎日確認をするということでしょうか。

事務局（両角）： 熱中症特別警戒アラートが発表されたときは、大雨警報と同じように市の危機管理室に伝わってきます。天気のアプリを入れている場合はそこにも情報が掲載されます。今は災害情報を確認しやすい社会ですので、例えば市役所からファックス等で一斉に情報共有をする、といったことは無いと思いますが、状況によっては市から各校に情報共有ができる体制になっています。

宮坂教育長： 熱中症については各学校で非常にデリケートに扱っています。パソコンを開くと熱中症指数がすぐに確認できるので、校長と養護教諭は常に把握をして対応をしています。

運動会やその練習につきましても、以前はテントを使っていなかった学校もテントを使用するようになっていきます。

それでは、岡谷市小中学校熱中症対応ガイドラインの見直しにつきまして、教育委員会として承認したいと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

地球温暖化の影響により、夏季は災害級の暑さが懸念され、夏季以外も熱中症防止の取り組みが必要な気温が観測されています。

本ガイドラインを市内小中学校にも周知し、児童生徒の命と健康を守り、緊急時において的確に対応してまいりますので、よろしくお願いします。それでは議題6「第7次岡谷市生涯学習推進計画の策定について」を事

宮坂教育長： 事務局より説明をお願いします。

6 第7次岡谷市生涯学習推進計画の策定について

<資料6に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理者： 今回は推進計画を4年にして他の計画と合わせるとのことですが、そもそまなぜずれてしまったのでしょうか。

事務局（白上）： 今回のような推進計画を作る際に、岡谷市総合計画や教育大綱の切り替え年度まで待ってから策定をすれば、きれいに計画期間を合わせることができますが、必要に応じて推進計画を策定するので、なかなか待つという選択にはなりません。ですが期間がずれてしまうと上位計画が終わったのに、それに関連する計画がまだ残っている状態になってしまい、非常に違和感がありますので、今回は期間を4年間にさせていただき、時期が合うように変更させていただきたいと思っております。

太田教育長職務代理者： 1件要望なのですが、岡谷市は充実した講座があり、非常に評判も良いと聞いておりますので、その講座をきちんと反映してもらいたいと思います。第6次計画の検証、関係団体からの聞き取りを丁寧に実施していただきたいと思います。

林教育委員： 令和6年12月にパブリックコメントを計画されていますが、期間はどのくらいでしょうか

事務局（白田）： 2週間を予定しております。

事務局（白上）： 次の議題でスポーツ推進計画がありますが、時期や期間はなるべく合わせるように設定しております。

宮坂教育長： それでは第7次岡谷市生涯学習推進計画策定の方針につきまして、教育委員会として承認したいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

《承認》

今年度は岡谷市生涯学習推進計画の策定年度でありますので、岡谷市総合計画や岡谷市教育大綱も踏まえながら、岡谷市の実情に則した計画を策定してまいりたいと考えております。

計画の策定については、生涯学習関係団体や利用者団体等へのアンケートとともに、教育委員の皆様にもご意見をいただきながら、一緒に考えてまいりますので、よろしくお願いいたします

続きまして、議題7「第3次岡谷市スポーツ推進計画の策定について」を事務局より説明をお願いします。

7 第3次岡谷市スポーツ推進計画の策定について

＜資料7に基づき、事務局より説明＞

藤森教育委員： 先ほどの生涯学習推進計画と同じようなスケジュールで策定される計画になると思います。委員会の構成員につきまして、生涯学習推進計画では委員長が教育部長、副委員長が生涯学習課長と決まっています。スポーツ推進計画では特に委員長等に関する記載はありませんが、構成員に市も入るということでよろしいでしょうか。

事務局（小松）： 設置要綱の中に（6）その他教育委員会が必要と認める者、とあります。ここに市のメンバーも含める予定です。

藤森教育委員： スポーツ推進にあたり、外部団体との繋がりがあると思いますので、市職員の方に仲介していただくことも必要かと感じましたので、よろしくお願いします。

林教育委員： スケジュールにあるスポーツ振興に関するアンケート調査について、無作為に1,000人に実施とありますが、アンケートの回答率を上げることが非常に難しい課題だと思います。無作為抽出以外にもスポーツ関連団体からご回答をいただいたりして、確実に回収できる方も入れた方がリアルな声を聞くことができると思います。回答率もアンケート終了後に教えていただきたいと思います。

事務局（小松）： ありがとうございます。幅広い意見がもらえるようにアンケート方法についても検討したいと思います。回答率につきまして前回の計画策定時には、1,000人に実施したところ、約36%の回答がありました。より回答率を上げる必要性があると思いますので、こちらについても検討を続けたいと思います。

事務局（白上）： 先ほどの生涯学習推進計画と併せて策定を進めますが、スポーツ推進計画では、スポーツ協会といった団体があるのですが、生涯学習は非常に幅広く美術、考古、読書、様々な講座がありすべての関係者を集めて会議をするということが、馴染まないと感じています。そのため、それぞれの分野の皆さんから丁寧に聞き取りをしながら、最終的なまとめについては委員会で行いたいと思っています。スポーツ推進計画と進め方が少し異なる部分になりますが、いずれも市民の皆様の意見は丁寧に取り入れたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

宮坂教育長： それでは第3次岡谷市スポーツ推進計画策定の方針につきまして、教育委員会として承認したいと思いますよろしくお願いします。

《承認》

宮坂教育長： より市民の皆様の声が反映された計画を目指しますが、もちろん教育委員の皆様にもご意見をいただきながら、一緒に考えてまいりますので、よろしく願いいたします

○報告事項

1. 第4次岡谷市通学路交通安全プログラムの実績について

<資料8に基づき、事務局より説明>

太田教育長職務代理者： 私は毎年このような形で報告を受けて、着実に交通安全プログラムを進めていただいていると認識しておりますが、保護者の中には、なかなか着手してくれないと感じている方もいると思います。予算の関係もありますし、危険箇所によっては管轄の問題があってなかなか手を付けられない部分もあると承知していますが、コミュニティスクールに参加すると、通学路の危険箇所の現地確認に参加して、報告をしてもなかなか改善をしてもらえないという声も聞きます。実際にはこのように着実に対策を進めてもらっているのです、もう少し上手に伝われば、より良いと思いました。

事務局(両角)： 今年度は新たなプログラムの策定年度なので、小学校区ごとに危険箇所の洗い出しをさせていただきます。今日いただいたご意見も校長会で共有をさせていただき、例えば見守り隊の方々からの意見もきちんと含めるような共有もさせていただきたいと思います。

轟教育委員： 対策箇所の写真を見てみると、湊小学校の対策箇所として水路脇に注意喚起の看板を設置した箇所があります。写真を見るかぎりでは、ここは看板を1つ設置しただけに見えますが、この箇所は今回の対策で十分なのでしょうか。

事務局(西山)： 写真には写っていませんが、看板は全部で3か所ついております。教育委員さんからご意見があったことは土木課にも伝えて、追加で対策できる場所が無いか検討をしたいと思います。

宮坂教育長： ご意見ありがとうございました。
続きまして、報告事項2「岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について」、事務局より説明をお願いします。

2. 岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について

<資料9に基づき、事務局より説明>

宮坂教育長： 何か質問等ありますでしょうか。

《委員から質問無し》

それでは続きまして、「その他」を、事務局よりお願いします。

○その他

・行事等について（各課）

＜各課より行事予定について説明＞

宮坂教育長： ありがとうございます。

その他連絡事項等ありますでしょうか。

今までのところで何かご意見等はございますか。

本日予定しました議題は以上ですが、全体を通して何か質問等ございますか。

教育委員さんから何か報告事項等ございますか。

それでは事務局より次回の開催予定についてお願いいたします。

事務局（両角）： 次回の定例教育委員会は

6月5日（水）9時30分から市立図書館2階会議室を予定しています。

よろしくお願いいたします。

宮坂教育長： ありがとうございます。

続きまして非公開の議題に進みます。

○議題（非公開）

1 学校評議員の承認について

＜資料1に基づき、事務局より説明＞

2 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について

＜資料2に基づき、事務局より説明＞

3 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について

＜資料3に基づき、事務局より説明＞

11時50分 終了